

平成元年度 支部総会報告 (1)

北海道支部

日時：平成元年3月22日(水)

場所：KKR札幌

1. 昭和63年度事業報告

(1) 研究会

① 日時 平成元年2月10日(金)

場所 KKR札幌

題目 最大平衡フロー問題に関するアルゴリズムの紹介

講師 小樽商科大学商学部 中山 明

(2) 講演会

① 日時 昭和63年3月9日(水)

場所 北海道大学情報工学科会議室

題目 CA Iの現状と将来動向について

講師 日本ユニバック株式会社

教育部CA Iセンタ 中新 俊夫

② 日時 昭和63年5月20日(金)

場所 KKR札幌

題目 北海道電力の有効電力制御について

講師 北海道電力株式会社

工務部系統技術課 斉藤 裕

③ 日時 昭和63年8月26日(金)

場所 KKR札幌

題目 構造的線形計画モデルの分権化

講師 カナダ・カルガリー大学経済学部

Cornelis van de Panne

④ 日時 昭和63年11月18日(金)

場所 郵政会館

題目 医療のシステム化

講師 札幌大学経営学部経営学科

宮腰 昭男

2. 昭和63年度収支計算報告

(1) 貸借対照表

平成元年2月28日現在(円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 預 金	9,225	前期繰越金	947,074
貯 金	879,488	当期運営残高	△658,361
	(積立金 600,000含む)	積立金	600,000
合 計	888,713	合 計	888,713

(2) 収支計算書

自昭和63年3月1日 至平成元年2月28日(円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
繰越金	947,074	947,074	
本部交付金	237,600	237,600	
参加費	15,000	31,500	総会、研究会参加費
預貯金収入	0	2,069	預金利息
合 計	1,199,674	1,218,243	
(支出の部)			
会議費	60,000	71,200	支部総会費用
講演会費	50,000	212,200	会場費、講師謝礼
研究会費	70,000	28,710	会場、懇親会費用
通信費	20,000	12,520	薬書、切手等
交通費	10,000	0	
交際費	10,000	4,900	振込手数料他
予備費	379,674	0	
積立金	600,000	600,000	
合 計	1,199,674	929,530	
次期繰越金		288,713	
当期運営残高		△658,361	

3. 平成元年度事業計画

- (1) 研究会 今年度2～3回実施する。内容については別途検討する。
- (2) 講演会 今年度2～3回実施する。演題・講演者については別途検討し決定する。
- (3) 普及活動 適宜実施する。
- (4) その他 平成2年度に北海道で行なわれる全国大会に向け実行委員会を発足させ準備作業

に着手する。

4. 平成元年度収支予算

(円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	288,713	会 議 費	60,000
本部交付金	237,600	演 講 費	60,000
参加費	45,000	研 究 費	80,000
		通 信 費	20,000
		交 通 費	50,000
		事 務 費	10,000
		予 備 費	91,313
		活 動 積 立 金	200,000
合 計	571,313	合 計	571,313

5. 支部役員

支部長 五十嵐日出夫 (北海道大学 工学部)
 運営委員 加地 郁夫 (北海道大学 工学部) 河口
 至商 (北海道大学 工学部) 山村 悦夫 (北海道大学
 環境科学) 長谷川 淳 (北海道大学 工学部) 関口 恭
 毅 (北海道大学 経済学部) 大内 東 (北海道大学 工
 学部) 木村 俊一 (北海道大学 経済学部) 沼田 久
 (小樽商科大学) 若林 信夫 (小樽商科大学) 行方 常幸
 (小樽商科大学) 浅利 英吉 (北海道東海大学 札幌) 天
 野 豊治 (北海道工業大学) 伊藤 正義 (北海道工業大
 学) 大堀 隆文 (北海道工業大学) 石塚 文嘉 (北海道
 工業大学) 北川 正彦 (札幌市交通局) 元谷 靖宏 (北
 海道ソフトエンジニアリング) 山田 修 (北海道電力)
 川向 史矩 (北海道開発問題研究調査会)
 幹 事 佐藤 馨一 (北海道大学 工学部) 千葉 博
 正 (北海道大学 工学部)
 監 事 竹内 俊正 (日本ユニシス)

6. 規約改正

〈現 行〉

第18条 支部運営委員会は支部長、副支部長、運営委員、
 支部監事をもって構成し、必要のつど開催する。
 支部運営委員会は構成員の3分の2以上の出席
 をもって成立する。

〈改正後〉

第18条 支部運営委員会は支部長、副支部長、運営委員、
 支部幹事、支部監事をもって構成し、必要のつ
 ど開催する。支部運営委員会は構成員の2分の
1以上の出席をもって成立する。

東 北 支 部

日 時：平成元年5月9日(火)

場 所：東北電力新館5階会議室

1. 昭和63年度事業報告

(1) 総 会

63年4月21日(木)15時より第一生命タワービル9
 階I BM教室において開催し、下記議案について審
 議し、承認された。

- ① 昭和62年度事業報告ならびに決算報告
- ② 昭和63年度事業計画案ならびに予算案
- ③ 支部役員を選出について

(2) 運営委員会

- 63年4月21日(木)：総会提出議案ならびに支部顧
 問の人選について審議した。

(3) 幹事会

- 63年4月21日(木)：63年度総会提出議案ならびに
 同運営委員会の提出議案につ
 いて検討した。

(4) 講演会

- 63年4月21日(木)総会終了後、同会場において開
 催した。

講 師：東北電気保安協会 相談役 三国文治郎

演 題：私とOR

(5) 研究会

延回数	期日・時 間	場所	講師	テ ー マ	参加 数
第50回	7/5 (火) 16:00 ~17:00	仙台市 第一生命	アンドー ル シス テムサポ ート 取 締役 三田 輝	ファジーについ て	15名
第51回	9/12(月) 15:30 ~17:00	仙台市 東北大学	ロチエス ター大学 住田 潮	部品製造の スケジュール ングについて	15名
第52回	3/7 (火) 16:00 ~17:30	仙台市 第一生命	岩手大学 人文社会 学部助教 石川昭彦	タクシーの相乗 り問題について	18名

- (6) 懇親会 63年4月21日(木)総会終了後開催 (参加
 者19名)

- (7) 会員の状況 会員68名 賛助会員 6社 (東北電
 力, NTT東北総支社, 通研電気工業,

東北コンピュータ・サービス、東北文理学園、東北システムズ・サポート)

(8) 親睦行事 会員の親睦を図るための行事を1回程度行なう。

2. 昭和63年度収支計算報告

(1) 貸借対照表

平成元年2月28日現在(円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
預貯金	39,442	前期繰越金 当期運営残高	20,595 18,847
合計	39,442	合計	39,442

(2) 収支計算書

昭和63年3月1日～平成元年2月28日(円)

科目	予算	決算	備考
(収入の部)			
本部交付金	304,000	304,000	
利息	405	267	
(1) 収入合計	304,405	304,267	
(支出の部)			
会議費	70,000	65,000	総会、運営委員会、幹事会他
講演会費	50,000	13,000	講演会
研究会費	140,000	183,090	OR研究会(2回)
印刷費	2,000	0	総会資料、総会議事録他
通信費	15,000		
通信用途費	40,000	14,630	はがき、切手代
交際費	5,000	9,700	支部長会議交通費
予備費	3,000	0	事務用品
(2) 支出合計	325,000	285,420	
(3) 当期運営残高	△ 20,595	18,847	(1)-(2)
(4) 前期繰越金	20,595	20,595	
(5) 次期繰越金	0	39,442	(3)+(4)

3. 平成元年度事業計画

- 総会 1回開催
- 運営委員会 随時開催
- 幹事会 随時開催
- 講演会 2回程度開催(企業団体等との共催を含む)
- 研究会 4回程度開催(研究成果発表、素材提供および自由討議等による研究)
- OR普及活動 大学、企業、団体など各職場の实情にあった普及活動を積極的行なう。
- 会員増強 上記活動、その他を通じて、OR学会への入会勧誘を行なう。

4. 平成元年度収支予算

(円)

科目	予算	前年度 予算	増減	備考
(収入)				
前期繰越金	39,442	20,595	18,847	
本部交付金	304,000	304,000	0	
利息	258	405	△ 147	
合計	343,700	325,000	18,700	
(支出)				
会議費	80,000	70,000	10,000	総会、運営委員会、幹事会
講演会費	40,000	50,000	△ 10,000	講師謝礼、旅費
研究会費	150,000	140,000	10,000	講師謝礼等
印刷費	2,000	2,000	0	総会資料他
通信用途費	15,000	15,000	0	はがき、切手代
交際費	50,000	40,000	10,000	支部長会議交通費
事務費	3,000	5,000	△ 2,000	他事務用品、消耗品
予備費	3,700	3,000	700	
合計	343,700	325,000	18,700	

5. 支部役員

支部長 中澤 博司(東北電力)

副支部長 高橋 幸雄(東北大学) 吉田 肇(NTT東北支社)

運営委員 五十嵐 豊(東北電気保安協会) 江川 忠信(東北システムズ・サポート) 荻野 正浩(電腦総合サービス) 木村 正行(東北大学) 熊谷 和夫(相馬共同火力発電) 後藤 義雄(河北新報社) 清水 幸一(東北地方建設局) 芝崎 忠夫(日本IBM) 鈴木 義也(東北大学) 辻奥 信昭(NTT東北支社) 竹内 清(石巻専修大学) 田中 謙輔(新潟大学) 手島 恒男(東北大学) 山本 保(東北電力) 瀬戸 長彦(通研電気) 渡利 千波(山形大学) 岩田 恒一(石巻専修大学) 御園生 善尚(日本大学) 奈良 久(東北大学) 福山 年昭(東北コンピュータサービス)

監事 千葉 雅保(東北文理学園) 関田 康慶(東北大学)

幹事長 武藤 滋夫(東北大学)

幹事 神 正昭(東北工業大学) 田中 光美(東北地方建設局) 鈴木 康彦(福島大学) 瀬戸口 良三(帝京大学) 金川 健次(東北電力) 飯田 浩(日本IBM) 藤野 和建(長岡技術科学大学) 山内 修(NTT東北支社) 高橋 長雄(東北電力) 石川 明彦(岩手大学) 谷内 正文(東北学院大学) 稲葉 輝雄(東北システムズ)

ズ・サポート) 青木 茂 (NTT東北料金センタ) 小林
康幸 (東北コンピュータサービス)

中 部 支 部

日 時：平成元年3月18日(土)

場 所：中部品質管理協会 第1研修室

1. 昭和63年度事業報告

(1) 総 会

1988年度総会は1988年3月19日(土)、中部品質管理協会第1研修室において開催され、下記事項について審議承認された。

- (1) 1987年度事業報告
- (2) 1987年度決算報告
- (3) 1988年度事業計画
- (4) 1988年度予算
- (5) 1988～1989年度役員選出
- (6) その他

(2) 運営委員会

日 時：1989年3月18日(土) 11:00～12:00

場 所：中部品質管理協会 第1研修室

題 目：(1) 1989年度総会議案の件
(2) その他

(3) 幹事会

1) 日 時：1988年4月16日(土) 13:00～14:30

場 所：第2豊田ビル西館B1「木曾路」

題 目：(1) 新旧幹事の引き継ぎ
(2) 1988年度の事業計画について
(3) 会員の拡大について
(4) その他

2) 日 時：1989年2月18日(土) 10:30～13:00

場 所：中部品質管理協会 第1研修室

題 目：① 1989年度総会議案について
② 1989～1990年度幹事選出について
③ 支部研究発表会の準備について

(4) 支部研究発表会(第15回)

日 時：1988年3月19日(土) 13:00～16:10

場 所：中部品質管理協会 第1研修室

参加者：31名

発表テーマ：

テ ー マ	発 表 者
ショックモデルの 寿命分布の性質について	青山 孝宏 (名工大)
オペレーティング・システム の最適制御に関する基礎 的研究	田中 誠一 (名工大)
固定在庫費用がある場合の (s, S)政策について	石垣 智徳 沢木 勝茂 (南山大)
フィードバックシステムか ら見た日本と米国の株価の 関係	中村 正治 (名古屋相互銀行)
特別講演：ORの理論と応 用 ——メタ・メタな話——	小和田 正 (名工大)

(5) 研究会

(敬称略)

月/日	テ ー マ	発 表 者	参加者
5月21日	大規模システムの最適化	金指 正和 (愛工大)	13名
6月18日	キャプテンの現状と将来	舟橋 賢 (名古屋情報セ ンター)	10名
7月16日	On the multiple choice problem	穴太 克則 (阪大)	17名
12月17日	“都市型CATV”にみる 「加入率」と「視聴率」の 動向	若林 稔 (セントラルケ ーブルテレビ)	13名
1月21日	点過程を入力する非線形 システムの解析	伊藤 嘉房 (名古屋大医療 短大)	8名
2月18日	新しい海難救助システム のシミュレーション	末内 潔 (中部大)	11名

(6) 定例講演会(日本経営工学会共催)

日 時：1988年11月19日(土) 14:00～16:30

場 所：中部品質管理協会 第1研修室

テーマ：意思決定を助けるための経済性分析

発表者：千住 鎮雄 (杏林大)

参加者：29名

(7) 北陸地区講演会

日 時：1988年11月11日(金) 14:00～16:30

場 所：石川県地場産業振興センター 2階第2
研修室

テーマ：企業の経営管理と人工知能

参加者：54名

発表テーマ：

No.	テ ー マ	発 表 者
1	意思決定支援システムの AI技術のインパクト	砂田登士夫 (富士通システム総研)
2	AHPを利用した エキスパートシステムの試 作事例	加藤 直孝 (石川県工業試験場)

(8) 工場見学会

日 時：1988年10月14日(金) 13:00~15:30

場 所：中部電力 岩屋ダム

参加者：15名

(9) 刊行物

1. 支部ニュース (9回)
2. 第15回支部研究発表会アブストラクト集

2. 昭和63年度収支計算報告

自1988年3月1日 至1989年2月28日 (円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	491,000	491,000	
講演会交付金	28,000	28,000	
利 息	700	601	
(1) 合 計	519,700	519,601	
(支出の部)			
会 議 費	25,000	33,000	総会、幹事会
演 講 費	35,000	20,000	会場費、謝礼
事 務 費	150,000	147,895	事務委託料、封筒・用紙代
通 信 費	170,000	181,860	郵送料
印 刷 費	100,000	92,000	総会議案、アブストラクト
旅費交通費	25,000	20,200	講演者交通費
予 備 費	3,458	0	
(2) 合 計	508,458	494,955	
(3) 当期運営 残高	11,242	24,646	(1)-(2)
(4) 前期繰越 金	△11,242	△11,242	
(5) 次期繰越 金	0	13,404	(3)+(4)

3. 平成元年度事業計画

支 部 総 会	1 回
運 営 委 員 会	2~3回
幹 事 会	数 回
支 部 研 究 発 表 会	1 回

1989年8月号

OR学会定例講演会	1 回
講 演 会	1~2回
事例研究発表会	1 回
研 究 会	数 回
見 学 会	1~2回
支部ニュースの刊行	12 回

4. 平成元年度収支予算

(円)

科 目	金 額
(収入の部)	
前期繰越金	13,404
本部交付金	491,000
講演会交付金	28,000
利 息	600
合 計	533,004
(支出の部)	
会 議 費	25,000
演 講 費	32,000
事 務 費	150,000
通 信 費	175,000
印 刷 費	130,000
旅 費 交 通 費	20,000
予 備 費	1,004
合 計	533,004

5. 支部役員

支 部 長 岩田 怜 (㈱名鉄コンピュータサービス)

副支部長 日比野康文 愛知学院大学

運営委員 安達 公一 (名古屋工業大学) 大野 勝久 (名古屋工業大学) 小谷 重徳 (トヨタ自動車㈱) 沢木 勝茂 (南山大学) 田中 庸平 (中部電力㈱) 辻 紘良 (㈱豊田中央研究所) 中川 暲夫 (愛知工業大学) 中田 友一 (中京大学) 吉野 玄一 (名古屋勤労市民生活協同組合)

監 事 榎本 久徳 (中部電力㈱) 小和田 正 (名古屋工業大学)

幹 事 岡本 金義 (中部品質管理協会) 熊坂 浩範 (㈱豊田中央研究所) 奥村 浩 (㈱名鉄コンピュータサービス) 中田 友一 (中京大学) 後藤 邦夫 (南山大学)

顧 問 小野 勝次 (名古屋大学名誉教授)